

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部／ 研究科 国際社会科学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 University of Mannheim, Faculty of Social Sciences, Sociology
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 9月 1日 ～ 2019年 6月 17日 出国日 2018年 8月 17日 最終帰国日 2019年 7月 5日

留学の状況について、各項目について書いてください(合計1,500字以上)。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感(第1・2回目報告書記載)について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は留学を成功させなければならないという重圧が常にあったが、留学期間が折返し地点に来たところで、留学の目標や成功像は人それぞれでいいんだということに気づいて気が楽になり、活動領域が広がった。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

社会学学部の授業で期末レポートをいざ書くとなったときに、書き方が分からなくて苦労したのでこの学部に留学することが決まった時点で、学習院大学の教授にレポートの書き方を聞いておけばよかった。因みに、このレポートはEssayではないため、学部一年生の時に勉強したASの授業はあまり参考にならなかった。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学大学先の授業は主に三つある。一つ目はLanguage Course、二つ目はCulture Course、三つ目は学部の授業。一つ目と二つ目は一教科ごとに15€支払わなければならないうえ、一学期に最大三科目しか履修できない。しかし、授業は面白く単位が取りやすい。社会学部の授業はもちろん無料で、基本的に日本の学部二年生にとっては難しい内容だった。Seminarはプレゼンテーションをしてレポートを提出できれば、単位は貰えるがLectureは期末テスト一発勝負なので単位をもらうのは簡単ではない。マークテストもWritten Examも難易度が高かった。だから、留学中に単位が欲しい人は授業を精選して戦略的に勉強しなければいけない。教授は質問をしに行くと、快く教えてくれるいい教授ばかりだった。更に、修士学生が授業の前にExerciseをしてくれる授業もあり、勉強をする環境はとても整っていた。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

大学のキャンパスはとても広いため、授業間の移動が大変。しかし、教室はきれいなところが多く、図書館の設備が充実している。トイレは標識が小さく探すのが大変なので場所を早く覚えておくといい。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面: 留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生対象というよりは、学生全員向けに英語でEssay やTerm Paper の書き方を教えてくれる学習サポートがある。毎週火曜日の午前中にのみ開講されている。費用はかからない。

生活面: 生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

初期に面倒を見てくれる現地学生のバディーがいるので、最初のほうは頼るといいと思う。留学生へのイベントは学期に一回、私の学部の学生スタッフが企画していたものがあり、他には毎週異なったイベントを留学生向けに企画しているVISUMという学生団体がいた。住む寮によって、パーティーを不定期で開催していることもあった。更に、留学生向けのイベントではないが、毎週木曜日に学生が学校で夜にパーティーをしていた。

資金面: 現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

現地で得られる奨学金は特にない。しかし留学の途中でJASSOの奨学金の募集があった。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺の治安は悪くはないが、夜に一人で出歩かないほうが良い。町には物乞いの人がたくさんいるので、外にいるときはある程度気を引き締めておいたほうが良い。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

マンハイム大学は留学生がたくさんいて、ある程度英語ができる学生が多いので語学面に対するサポートはほとんどない。そのため、英語の指導をしてくれるような人を見つけないと間違いに気づけなかったり、新しい表現が身につかないため、英語の上達が難しい。だから、特に英語の勉強方法は作戦を練っておいたほうが良い。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の

②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名(単位数)	②本学で単位認定された科目名(単位数)

3. 宿舎について

(1)種類

大学の寮/~~アパート~~/~~ホームステイ~~/~~その他()~~

(2)家賃

月額(現地通貨)約 329€、(日本円)約 42770 円(1€130円の場合)

(3)食事

~~食事付き(朝・昼・夕)~~/~~自炊~~/~~その他()~~

(4)大学までの交通手段、所要時間

~~徒歩~~/~~自転車~~/~~バス~~/~~地下鉄~~/~~その他(トラム)~~、計 25 分

(5)感想、良かった点・悪かった点

トラムは、基本的に時間通りに来ないので時間に余裕を持って利用するとよい。

4. 費用について

(1)学 費

(現地通貨)約 0、(日本円)約

(2)渡航方法と金額

~~飛行機~~/~~船舶~~/~~その他()~~、(日本円)約 15万 円(往復)

(3)生活費

(現地通貨)月額・年額 約 540€、(日本円)約 7万 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4)費用の持参方法

~~国際キャッシュカード~~/~~クレジットカード~~/~~国際ブランドプリペイドカード~~/~~現金~~/~~その他()~~

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

ドイツは現金社会なので最初は現金を5万円くらい持って行ったほうが良い。銀行を開設するまでに4週間くらいかかるので、その間はプリペイドカードで買い物をすると良いと思う。最終的に海外送金してもらうことになるので、留学費用を貯金している口座のキャッシュカードは家族に預けて来ると良い。

(5)「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1)保険会社名

AOK(現地の保険会社)

(2)保険料

月91€ 11830円(1€130円)

(3)加入した保険の種類、内容

学生保険

(4)感想、良かった点・悪かった点

大学側が勧めてくる保険会社で、学生ビザを取るときに一番無難で安全な保険会社だと思う。メンザ内に

AOKの相談窓口があるため、困ったときに駆け込めるのが便利。この保険は本当に必要な施術しかカバーしていないので、歯医者に行って虫歯を直してもらったときに、毎月保険料を支払っているのに130€支払った。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物/~~船便~~/~~SAL便~~/~~航空便~~/~~海外宅配便~~/~~その他()~~

(2) 持って行って良かったと思う物

箸、交換プラグ、日本からのお土産、マフラー、爪切り、耳かき

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

洗濯ハンガー、水筒、電子辞書

(4) 持って行けば良かったと思う物

日本語の本、水着、ドイツで買えない調味料(鶏がらスープの素)、日本茶パック

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

朝起きて、学校へ行って授業を受けた後、図書館で勉強する。日によっては、友達とカフェに行く。夜は、時間をかけて料理をし、映画やアニメを見てから寝る。

(2) 週末

旅行に出かけたり、タンデムパートナーと一緒にご飯を作ったり出かけたりしていた。

8. 後輩へのアドバイス等

困ったことがあったら、自分だけで解決しようとせずに人に相談することが大事です。無事に、楽しい留学生活を送ってください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

長期で交換留学に行けて本当に良かったです。協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。